議会運営委員会日程

平成28年6月15日(水) 午前10時 502会議室

日程第1 意見書案について

- (1) 意見書案第 7号 最低賃金の改定等に関する意見書
- (2) 意見書案第 8号 精神障害者への交通運賃割引制度の適用を求める意見書
- (3) 意見書案第 9号 県補助事業における補助率の格差の是正を求める意見書
- (4) 意見書案第10号 待機児童解消に向けて早急な対応を求める意見書
- (5) 意見書案第11号 骨髄移植ドナーに対する支援の充実に関する意見書
- (6) 意見書案第12号 次期介護保険制度改正における福祉用具貸与等の見直しに 関する意見書
- (7) 意見書案第13号 元米海兵隊員による女性遺体遺棄事件に強く抗議し、全て の米軍基地の速やかな撤去を求める意見書

日程第2 6月16日(木)の本会議の運営について 【別紙「6月16日(木)の本会議の議事要領」による】

日程第3 一般質問について

日程第4 その他

最低賃金の改定等に関する意見書

日本経済の先行きについては、雇用・所得環境の改善が続く中で緩やかな回復に向かうことが期待される一方、昨年11月に国が発表した一億総活躍社会の実現に向けて緊急に実施すべき対策では、最低賃金・賃金引上げを通じた消費の喚起が掲げられ、最低賃金を年率3%程度を目途として引き上げるとともに、それに向けて、中小企業や小規模事業者の生産性向上等のための支援や、取引条件の改善等を図ることとされた。

こうした中、労働者を取り巻く情勢は、今年のいわゆる春闘において3年連続で2%台の賃上げがなされたものの、伸び率と金額は共に過去2年に比べて鈍化しており、また、昨年度改定後の神奈川県最低賃金の905円は、年収換算すると200万円に満たず、いまだワーキングプアを解消できない水準である。

個人消費を拡大し、経済の好循環を確かなものとするためには、賃金の引上げを全ての 労働者に適用される最低賃金にも波及させることが必要であり、その実現に当たっては、 中小企業や小規模事業者への支援策の実績を明らかにして、その実効性を高めることに加 え、原材料の値上げなどコストの増加に苦しむ中小企業等による当該増加部分の取引価格 への転嫁を阻害する行為を防止することが求められる。

よって、国におかれては、平成28年度の神奈川県最低賃金の改定に関し、次の事項について特段の措置を講ぜられるよう強く要望するものである。

- 1 早期に神奈川地方最低賃金審議会に諮問し、改定すること。
- 2 中小企業や小規模事業者への支援に関し、国として実施している各施策における神奈川県での活用実績等の成果の見える化を図り、各施策の実効性を高めるとともに、公正な取引関係の確立に向け、為替変動、資材高騰、物価上昇等に伴うコストの増加や消費税の価格転嫁を阻害する行為への適切な指導及び監視体制の強化を図ること。 以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

年 月 日

議会議長名

衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 総務大臣 宛て 厚生労働大臣 経済産業大臣 神奈川労働局長

精神障害者への交通運賃割引制度の適用を求める意見書

障害者が移動する際の公共交通機関が果たす役割は非常に大きなものであるが、鉄道、 航空、バス等の交通運賃割引については、昭和25年に身体障害者が対象となり、その後、 知的障害者も対象に加えられたにもかかわらず、精神障害者はいまだ対象とされていない。

本年4月に施行された障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律においては、身体障害又は知的障害に限らず、精神障害のある者であっても、障害及び社会的障壁により継続的に日常生活又は社会生活に相当な制限を受ける状態にあるものとしては、いずれも障害者として定義されている。

このように、精神障害者は、身体障害者及び知的障害者と同様に障害者と定義され、障害者支援策により、社会参加や就労、雇用の促進が図られているにもかかわらず、身体障害者及び知的障害者に比べて交通費に係る経済的負担が大きいことは、精神障害者の社会参加を促す上で大きな障壁となっており、本市においても、平成28年3月時点で1万567人の精神障害者保健福祉手帳を有する精神障害者が交通運賃割引制度の対象から除外され不合理な取扱いを受けている。

よって、国におかれては、精神障害者の社会復帰及び自立と社会参加を促進するため、 身体障害者及び知的障害者と同等の交通運賃の割引を早急に実現するよう、公共交通事業 者に対し、特段の措置を講ぜられるよう強く要望するものである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

年 月 日

議会議長名

衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 宛て 総務大臣 厚生労働大臣 国土交通大臣

意見書案第9号

県補助事業における補助率の格差の是正を求める意見書案の提出について

上記の意見書案を別紙のとおり、川崎市議会会議規則第13条の規定により提出いたします。

平成28年6月10日

川崎市議会議長 石 田 康 博 様

提出者 川崎市議会議員 松 原 成 文

ル 花輪 孝一

w 織 田 勝 久

市 古 映 美

県補助事業における補助率の格差の是正を求める意見書

小児医療費助成事業、重度障害者医療費助成事業、ひとり親家庭等医療費助成事業等、神奈川県の補助事業の中には、政令指定都市とその他の市町村との間で補助率に格差が設けられているものがある。

例えば、人口減少が問題となる中、子どもを育てる世帯にとって最も切実な問題である小児医療費助成事業の補助金については、政令指定都市に対する県の補助率は4分の1、他の市町村に対する補助率は3分の1から2分の1となっている。

川崎市を始めとした政令指定都市の市民が他の市町村民と同様の県税負担をしている 実態からすれば、これは、県内の租税負担の公平性が損なわれている状態であると言わざ るを得ない。

よって、県におかれては、県税負担の実態を踏まえ、小児医療費助成事業を始めとする県補助事業については、政令指定都市と他の市町村との補助率の格差を早急に是正されるよう強く要望するものである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

年 月 日

議会議長名

神奈川県知事宛て

意見書案第10号

待機児童解消に向けて早急な対応を求める意見書案の提出について

上記の意見書案を別紙のとおり、川崎市議会会議規則第13条の規定により提出いたします。

平成28年6月10日

川崎市議会議長 石 田 康 博 様

提出者 川崎市議会議員 松 原 成 文

ル 花輪 孝一

ル 織 田 勝 久

市 古 映 美

待機児童解消に向けて早急な対応を求める意見書

国は、待機児童解消加速化プランに基づき、保育所等の受入れ児童数の拡大や保育士の 処遇改善などに取り組んできたところであるが、平成27年4月時点で、依然として2万 人を超える待機児童が存在している。

また、本市の待機児童数においては、昨年4月にゼロを実現したものの、就学前児童の 増加や保育所申請率の上昇等により、今年4月時点で6人に増加している状況にある。

待機児童は、特に大都市に多く存在し、問題解決のためには、地域の実情や利用者の 視点に立ったきめ細かな支援策が重要である。

こうした中、保育人材を確保するための処遇改善など総合的な取組を推進するとともに、待機児童の多い地域においては即効性のある対策を集中的に講ずることも必要である。よって、国におかれては、必要な予算の確保を含め、早急に待機児童の解消を図るため、次の事項について特段の措置を講ぜられるよう強く要望するものである。

- 1 待機児童解消のため、待機児童解消加速化プランを着実に実施すること。また、 子ども・子育て支援新制度を利用者目線で総点検し、実態に応じた公定価格の実現 を図ること。
- 2 多様な保育ニーズと保育所等とのマッチングについて、利用者の視点に立った機 能強化が図られるようにすること。
- 3 都市部における施設整備の用地確保を図るため、定期借地制度や公務員住宅等の 空きスペースの活用など、国有地等を活用した保育所等の整備に取り組むこと。
- 4 保育士の賃金引上げやキャリアアップ支援など、保育士の更なる処遇改善を検討すること。また、短時間正社員制度や育児休業取得の推進など、保育士が働きやすい環境整備にも取り組むこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

年 月 日

議会議長名

衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 宛て 総務大臣 厚生労働大臣 少子化対策担当大臣

意見書案第11号

骨髄移植ドナーに対する支援の充実に関する意見書案の提出について

上記の意見書案を別紙のとおり、川崎市議会会議規則第13条の規定により提出いたします。

平成28年6月10日

川崎市議会議長 石 田 康 博 様

提出者 川崎市議会議員 松 原 成 文

ル 花輪 孝一

w 織 田 勝 久

市 古 映 美

骨髄移植ドナーに対する支援の充実に関する意見書

骨髄移植及び末梢血幹細胞移植は、白血病等の難治性血液疾患に対する有効な治療法であり、広く一般の方々に善意による骨髄等の提供を呼び掛ける骨髄バンク事業については、 公益財団法人日本骨髄バンクが主体となり、実施されている。

骨髄バンク事業において、平成28年3月現在のドナー登録者数は45万人を超え、患者とのHLA適合率は9割を超えている一方で、そのうち移植に至るのは6割未満にとどまっているのが現状であり、その要因は、ドナーの健康上の問題のほか、提供に伴う通院や入院等のための休暇を認めるか否かの対応が、ドナーを雇用している事業主ごとに異なることなどが挙げられる。

骨髄バンク事業では、骨髄等の提供に際しての検査や入院等に必要な交通費、医療費等、ドナー側の費用負担はなく、また、万一、骨髄等の提供に伴う健康障害が生じた場合でも、日本骨髄バンクによる保険が適用されるなど、ドナーの負担軽減に関して様々な取組が行われている。

しかし、ドナーが、検査や入院等で病院に行くために仕事を休業した場合の補償は、現在、行われておらず、ドナーが安心して骨髄等を多くの患者に提供できるような仕組み作りが早急に求められている。

よって、国におかれては、骨髄移植等の一層の推進を図るため、ドナーに対する支援の 充実に関し、次の事項を早期に実施されるよう強く要望するものである。

- 1 ドナー休暇の制度化について検討すること。また、事業主向けに策定した労働時間 等見直しガイドラインの中でドナー休暇制度を明示するなど、企業等の取組を促進す るための方策を講ずること。
- 2 ドナーが、骨髄等の提供に伴う入院、通院、打合せ等のために休業する場合の補 償制度の創設について検討すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

年 月 日

議会議長名

衆議院議長参議院議長内閣総理大臣 宛て総務大臣厚生労働大臣

意見書案第12号

次期介護保険制度改正における福祉用具貸与等の見直しに関する意見書案 の提出について

上記の意見書案を別紙のとおり、川崎市議会会議規則第13条の規定により提出いたします。

平成28年6月10日

川崎市議会議長 石田康博様

提出者 川崎市議会議員 松 原 成 文

ル 花輪 孝一

市 古 映 美

次期介護保険制度改正における福祉用具貸与等の見直しに関する意見書

国は、次期介護保険制度改正に向けて、軽度者に対する福祉用具貸与等の在り方の見直 しについて検討を進めているところであるが、現行の介護保険制度による福祉用具貸与や 住宅改修に係る給付は、高齢者自身の自立意欲を高めるとともに介護者の負担軽減を図る という極めて重要な役割を果たしている。

例えば、手すりや歩行器などの軽度者向け福祉用具は、転倒・骨折予防や自立した生活の継続を実現し、重度化を防ぎ遅らせることに役立っており、また、外出機会を保障することによって、特に一人暮らしの高齢者の閉じ籠もりを防ぎ、社会生活の維持につながっている。

軽度者に対する福祉用具や住宅改修の利用が原則自己負担になれば、低所得世帯等弱者の切り捨てになりかねず、また、福祉用具や住宅改修の利用が抑制され重度化が進展し、結果として介護保険給付の適正化という目的に反して高齢者の自立した生活を阻害し給付費が増大するおそれがある。

よって、国におかれては、次期介護保険制度改正における福祉用具貸与等の見直しにおいては、高齢者の自立を支援し、介護の重度化を防ぐといった介護保険の理念に沿って介護が必要な方の生活を支える観点から検討されるよう強く要望するものである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

年 月 日

議会議長名

衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 宛て 総務大臣 厚生労働大臣

意見書案第13号

元米海兵隊員による女性遺体遺棄事件に強く抗議し、全ての米軍基地の速 やかな撤去を求める意見書案の提出について

上記の意見書案を別紙のとおり、川崎市議会会議規則第13条の規定により提出いたします。

平成28年6月10日

川崎市議会議長 石 田 康 博 様

提出者	川崎市議会議員	市	古	映	美
	n	石	田	和	子
	n	佐	野	仁	昭
	n	斉	藤	隆	司
	n	石	JII	建	<u> </u>
	II.	井	口	真	美
	II	勝	又	光	江
	IJ	大	庭	裕	子
	IJ	渡	辺		学
	II	宗	田	裕	之
	II	片	柳		進

元米海兵隊員による女性遺体遺棄事件に強く抗議し、全ての米軍基地の速や かな撤去を求める意見書

沖縄県うるま市で発生した、元米海兵隊員の米軍属が、将来に夢を抱く若い女性の尊い命を奪った極めて残虐で凶悪な事件は、沖縄県民のみならず国民に大きな衝撃と不安を与え、激しい怒りの声が広がっている。

今回の事件に対し、在日米軍と米政府に厳しく抗議し、また、戦後71年間、沖縄に 基地を押しつけ、事件が起きるたびに「二度と起こさせない」と繰り返しながら、再発を 許してきた日本政府の責任も極めて重大であると言わざるを得ない。

このような凶悪犯罪が起きたにもかかわらず、5月25日に行なわれた安倍首相とオバマ米大統領による日米首脳会談で、安倍首相が、在日米軍の特権を定めた日米地位協定の改定に言及しなかったことに対し、沖縄県の翁長知事は、「県民は納得しない」などと批判し、翌26日には沖縄県議会が、本土復帰後、初めて在沖海兵隊の撤退要求を盛り込んだ抗議決議及び意見書を全会一致で採択した。

平成元年から昨年までの全国の米軍関係者の刑法犯検挙件数のうち、約半数の1,900件が沖縄県に集中しているが、まさに基地あるがゆえの事件・事故の発生であり、基地の撤去こそ最善の再発防止策であるにもかかわらず、この上、県民の世論を無視して、名護市辺野古沖に、最新鋭基地を建設するなど言語道断である。

よって国におかれては、事態を重く受けとめ、次の事項が速やかに実現されるよう強く要望するものである。

- 1 今回の女性遺体遺棄事件の被害者の遺族への謝罪及び完全な補償を行うこと。
- 2 日米地位協定を抜本的に見直すこと。
- 3 辺野古新基地建設の中止及び全ての米軍基地の速やかな撤去に踏み出すこと。 以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

年 月 日

議会議長名

宛て

外 務 大 臣

防 衛 大 臣

沖縄及び北方対策担当大臣

6月16日(木)の本会議の議事要領

1

日程第1 一般議案 20件 日程第2 報 告 15件 日程第3 請 願 1件

- (2) 討論 (日程第1、第3の各案件) 「日程第2の報告に対するご意見などがあれば、併せてお願いする。発言は、今議会の発言順]

(3) 採 決

- ① 日程第1の議案20件中、次の議案6件を除いた14件を起立により一括採決
 - 議案第 95号 川崎市保育園条例の一部を改正する条例の制定について
 - 議案第 96号 川崎市児童福祉施設の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条 例の制定について
 - 議案第 97号 川崎市家庭的保育事業等の設備及び運営の基準等に関する条例の一部を改正 する条例の制定について
 - 議案第 98号 川崎市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
 - 議案第 99号 川崎市立学校の設置に関する条例の一部を改正する条例の制定について
 - 議案第111号 川崎市幼保連携型認定こども園の学級の編制、職員、設備及び運営の基準に 関する条例の一部を改正する条例の制定について
- ② 除いた議案第95号、第96号、第97号、第98号、第99号及び第111号の6件を起立 により一括採決
- ③ 日程第3の請願第1号の請願1件を起立により採決
 - 請願第 1号 義務教育に係る国による財源確保と、30人以下学級の実現をはかり、教育 の機会均等と水準の維持向上、並びにゆきとどいた教育の保障に関する請願

2

日程第4

- 意見書案第 7号 最低賃金の改定等に関する意見書
- 意見書案第 8号 精神障害者への交通運賃割引制度の適用を求める意見書
- 意見書案第 9号 県補助事業における補助率の格差の是正を求める意見書
- 意見書案第10号 待機児童解消に向けて早急な対応を求める意見書
- 意見書案第11号 骨髄移植ドナーに対する支援の充実に関する意見書
- 意見書案第12号 次期介護保険制度改正における福祉用具貸与等の見直しに関する意見書 「一括上程、書記朗読等を省略し、直ちに起立により一括採決」
- 意見書案第13号 元米海兵隊員による女性遺体遺棄事件に強く抗議し、全ての米軍基地の速や かな撤去を求める意見書

[上程、提案説明、自席質疑(討論)の後、直ちに起立により採決]

平成28年第2回川崎市議会定例会議事日程第4号

平成28年6月16日(木) 午前10時 開 議

第 1

議案第 92号	川崎市スポーツ・文化総合センター条例の一部を改正する条例の制定について
議案第 93号	川崎市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営の基準等に関する条例の一部を改
	正する条例の制定について
議案第 94号	川崎市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介
	護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法の基準等に関する条例の一部を改
	正する条例の制定について
議案第 95号	川崎市保育園条例の一部を改正する条例の制定について
議案第 96号	川崎市児童福祉施設の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第 97号	川崎市家庭的保育事業等の設備及び運営の基準等に関する条例の一部を改正する条例の制定に
	ついて
議案第 98号	川崎市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第 99号	川崎市立学校の設置に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第100号	川崎市基金条例の一部を改正する条例の制定について
議案第101号	川崎市情報公開・個人情報保護審査会委員の選任について
議案第102号	南部リサイクルセンター基幹的整備工事請負契約の締結について
議案第103号	川崎駅西口堀川町C地区連絡ペデストリアンデッキ整備工事請負契約の締結について
議案第104号	等々力硬式野球場改築工事請負契約の締結について
議案第105号	等々力硬式野球場改築電気設備工事請負契約の締結について
議案第106号	五反田川放水路放流部函体築造工事請負契約の変更について
議案第107号	南武線津田山駅自由通路新設及び橋上駅舎整備工事委託等契約の締結について
議案第108号	市道路線の認定及び廃止について
議案第109号	黒川地区小中学校新設事業の契約の変更について
議案第110号	平成28年度川崎市一般会計補正予算
議案第111号	川崎市幼保連携型認定こども園の学級の編制、職員、設備及び運営の基準に関する条例の一部

第 2

報告第	2号	平成27年度川崎市一般会計繰越明許費繰越額の報告について
報告第	3号	平成27年度川崎市一般会計事故繰越し繰越額の報告について
報告第	4号	平成27年度川崎市港湾整備事業特別会計繰越明許費繰越額の報告について
報告第	5号	平成27年度川崎市墓地整備事業特別会計繰越明許費繰越額の報告について
報告第	6号	平成27年度川崎市生田緑地ゴルフ場事業特別会計繰越明許費繰越額の報告について
報告第	7号	平成27年度川崎市病院事業会計継続費繰越額の報告について
報告第	8号	平成27年度川崎市病院事業会計予算繰越額の報告について
報告第	9号	平成27年度川崎市下水道事業会計予算繰越額の報告について
報告第	10号	平成27年度川崎市水道事業会計予算繰越額の報告について
報告第	11号	平成27年度川崎市工業用水道事業会計予算繰越額の報告について
報告第	12号	平成27年度川崎市自動車運送事業会計予算繰越額の報告について
報告第	13号	川崎市情報公開条例第35条の規定による運営状況の報告について
報告第	14号	川崎市個人情報保護条例第41条の規定による運営状況の報告について
報告第	15号	川崎市審議会等の会議の公開に関する条例第11条の規定による運営状況の報告について
報告第	16号	地方自治法第180条の規定による市長の専決処分の報告について

を改正する条例の制定について

第 3

請願第 1号 義務教育に係る国による財源確保と、30人以下学級の実現をはかり、教育の機会均等と水準の維持向上、並びにゆきとどいた教育の保障に関する請願

第 4

意見書案第 7号 最低賃金の改定等に関する意見書 意見書案第 8号 精神障害者への交通運賃割引制度の適用を求める意見書 意見書案第 9号 県補助事業における補助率の格差の是正を求める意見書 意見書案第 1 0号 待機児童解消に向けて早急な対応を求める意見書 意見書案第 1 1号 骨髄移植ドナーに対する支援の充実に関する意見書 意見書案第 1 2号 次期介護保険制度改正における福祉用具貸与等の見直しに関する意見書 意見書案第 1 3号 元米海兵隊員による女性遺体遺棄事件に強く抗議し、すべての米軍基地の速やかな撤去を求める意見書

総務委員長 浜田昌利

総務委員会審査報告書 (議案)

本委員会に付託された下記の議案を審査の結果、次のとおり決定したので、会議 規則第77条の規定により報告します。

記

議案第101号 川崎市情報公開・個人情報保護審査会委員の選任について (同 意)

議案第110号 平成28年度川崎市一般会計補正予算 (原案可決)

文教委員長 松原成文

文教委員会審查報告書 (議案)

本委員会に付託された下記の議案を審査の結果、次のとおり決定したので、会議 規則第77条の規定により報告します。

記

- 議案第 92号 川崎市スポーツ・文化総合センター条例の一部を改正する条例の 制定について (原案可決)
- 議案第 95号 川崎市保育園条例の一部を改正する条例の制定について (原案可決)
- 議案第 96号 川崎市児童福祉施設の設備及び運営の基準に関する条例の一部を 改正する条例の制定について (原案可決)
- 議案第 97号 川崎市家庭的保育事業等の設備及び運営の基準等に関する条例の 一部を改正する条例の制定について (原案可決)
- 議案第 99号 川崎市立学校の設置に関する条例の一部を改正する条例の制定に ついて (原案可決)
- 議案第109号 黒川地区小中学校新設事業の契約の変更について (原案可決)
- 議案第111号 川崎市幼保連携型認定こども園の学級の編制、職員、設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について (原案可決)

健康福祉委員長 田村伸一郎

健康福祉委員会審查報告書 (議案)

本委員会に付託された下記の議案を審査の結果、次のとおり決定したので、会議 規則第77条の規定により報告します。

記

- 議案第 93号 川崎市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営の基準等に関する条例の一部を改正する条例の制定について (原案可決)
- 議案第 94号 川崎市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び 運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のた めの効果的な支援の方法の基準等に関する条例の一部を改正する 条例の制定について (原案可決)
- 議案第 98号 川崎市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制 定について (原案可決)
- 議案第100号 川崎市基金条例の一部を改正する条例の制定について (原案可決)

まちづくり委員長 木 庭 理 香 子

まちづくり委員会審査報告書 (議案)

本委員会に付託された下記の議案を審査の結果、次のとおり決定したので、会議 規則第77条の規定により報告します。

記

議案第103号 川崎駅西口堀川町C地区連絡ペデストリアンデッキ整備工事請負 契約の締結について (原案可決)

議案第104号 等々力硬式野球場改築工事請負契約の締結について (原案可決)

議案第105号 等々力硬式野球場改築電気設備工事請負契約の締結について (原案可決)

議案第106号 五反田川放水路放流部函体築造工事請負契約の変更について (原案可決)

議案第107号 南武線津田山駅自由通路新設及び橋上駅舎整備工事委託等契約の 締結について (原案可決)

議案第108号 市道路線の認定及び廃止について

(原案可決)

環境委員長 斉藤隆 司

環境委員会審査報告書 (議案)

本委員会に付託された下記の議案を審査の結果、次のとおり決定したので、会議 規則第77条の規定により報告します。

記

議案第102号 南部リサイクルセンター基幹的整備工事請負契約の締結について (原案可決)

文教委員長 松原成文

文教委員会審査報告書 (請願)

本委員会に付託された下記の請願を審査の結果、次のとおり決定したので、会議 規則第77条及び第94条の規定により報告します。

記

請願第1号 義務教育に係る国による財源確保と、30人以下学級の実現をはかり、 教育の機会均等と水準の維持向上、並びにゆきとどいた教育の保障に関 する請願 (取り下げ)

代表討論通告書

平成28年6月14日

川崎市議会議長 様

会派名日本共産党討論者氏名佐野仁昭時間約6分

次のとおり代表討論を行いますので、会議規則第49条の規定により通告します。

			議	案	(請願を含む)						
		議案第95号	川崎市保育園条例の一部を改正す	する条例の制定について							
		議案第96号	川崎市児童福祉施設の設備及び	運営の基準に関する条例	の一部を改正する条例の制定につ						
	t. f	議案第97号	川崎市家庭的保育事業等の設備] について	及び運営の基準に関する	条例の一部を改正する条例の制定						
反	対	議案第98号	川崎市病院事業の設置等に関する	る条例の一部を改正する	条例の制定について						
討	論	議案第99号	川崎市立学校の設置に関する条例	列の一部を改正する条例の	の制定について						
	HIM	議案第111号 川崎市幼保連携型認定こども園の学級の編成、職員、設備及び運営の基準に関する条例 の一部を改正する条例の制定について									
			~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~								
賛	成										
討	論										
山	PIII										
			幸侵	告							
			10								
				***************************************							
	_				( M 4 1 2 2 2 1						

# 発言通告書

平成28年6月10日

川崎市議会議長 様

 会派名
 日本共産党

 発言者氏名
 宗田裕之

 予定時間
 5分

次のとおり発言を行いますので、会議規則第49条の規定により通告します。

発言項目
意見書案第13号の提案説明
(元米海兵隊員による女性遺体遺棄事件に強く抗議し、全ての
米軍基地の速やかな撤去を求める意見書)
△並 査 ま
28, 6,1

平成28年第2回川崎市議会定例会議事日程第7号

平成 2 8 年 6 月 2 1 日 (火) 午 前 1 0 時 開 議

第 1

一般質問

第 2

請願・陳情

第 3

閉会中の継続審査及び調査について

#### 閉会中の継続審査及び調査申し出一覧表

平成28年6月21日

#### 《総務委員会》

陳情第1号、28号

総務企画局、財政局、経済労働局、臨海部国際戦略本部及びその他の行政について

#### 《文教委員会》

請願第19号、20号

陳情第5号、38号、53号

市民文化局、こども未来局及び教育委員会の行政について

#### 《健康福祉委員会》

請願第4号、13号

陳情第31号、32号、35号、49号

健康福祉局、病院局及び消防局の行政について

#### 《まちづくり委員会》

請願第2号、3号、9号、11号、15号、16号、17号 陳情第2号、18号、19号、20号、29号、40号、50号、52号 まちづくり局及び建設緑政局の行政について

#### 《環境委員会》

請願第7号

陳情第3号、4号

環境局、港湾局、上下水道局及び交通局の行政について

#### 《議会運営委員会》

議会の運営に関する事項

議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項

議長の諮問に関する事項

### 平成28年第2回定例会一般質問者一覧(案)

#### 発言通告締切日 平成28年6月13日(月) 午後1時

会派月日		自	民	党			公	明	党			民王	主みり	らい			共	産	党			無	所	属	
6/17	*	末	永		直	*	春		孝	明	*	木』	庭 理	! 香	子	*	石	Ш	建						
(金)	*	老	沼		純	*	Ш	島	雅	裕	*	押	本	吉	司	*	勝	又	光	江					
(18人)	*	矢	沢	孝	雄	*	河!	野り	か	り	*	松	井	孝	至	*	宗	田	裕	之					
	*	吉	沢	章	子	*	田;	村伸	i —	郎						*	佐	野	仁	昭	*	月	本	琢	也
																					*	添	田		勝
																					*	重	富	達	也
6/20	*	斎	藤	伸	志	*	浜	田	昌	利	*	Щ	田	益	男	*	片	柳		進					
(月)	*	野	田	雅	之	*	か	わの	忠	正	*	林		敏	夫	*	大	庭	裕	子					
(19人)	*	廣	田	健	_	*	沼	沢	和	明	*	露	木	明	美	*	斉	藤	隆	司					
	*	松	原	成	文	*	岩	崎	善	幸	*	雨	笠	裕	治	*	石	田	和	子	*	小	田理	里 恵	子
																					*	渡	辺ま	うつ	子
																					*	三	宅	隆	介
6/21	*	橋	本		勝	*	山	田	晴	彦	*	堀	添		健	*	渡	辺		学					
(火)	*	山	崎	直	史	*	後	藤	晶	_	*	織	田	勝	久	*	市	古	映	美					
(16人)	*	原		典	之	*	吉	岡	俊	祐	*	岩	隈	千	尋	*	井	口	真	美					
	*	浅	野	文	直	*	花	輪	孝	_	*	飯	塚	正	良										
	*	嶋	崎	嘉	夫																				
53人			13人					12人					11人					11人					6人		

^{*} 印は一問一答方式

### 平成28年第2回定例会一般質問発言要旨(届出順)

*印は一問一答方式

順序	2	発	言		<u>z</u>	要旨	答	Ŧ	: 4	者
1	*	三	宅	隆	介	① 職員の病休状況について	市	長	副市	長
						② 健康都市宣言について	総	企	多	摩
						③ 本市への人口流入について	関係	制		
2	*	添	田		勝	① 小中学生の朝食摂取状況について	健	福	教沙	で長
						② かわさき健幸福寿プロジェクトについて				
3	*	重	富	達	也	① 災害用備蓄トイレの管理について	総	企	環	境
							関係	、局		
4	*	月	本	琢	也	① 主権者教育について	市	長	教育	長
						② 貧困連鎖の対策について	こと	i t	健	福
							教次	長	選	管
5	*	小日	田 理	! 恵	子	① 災害時のアレルギー事故防止策について	総	企	経	労
						② ものづくり起業支援について	関係	、局		
						③ 決裁プロセス改革について				
6	*	石	Ш	建		① 宮前平駅前の交差点安全対策について	市	長	教育	長
						② 宮前平駅改修に伴う図書返却ポストの設置につい	市	民	経	労
						7	宮	前	教沙	で長
						③ 中小企業支援策について	関係	、局		
						・小規模事業者の実態調査				
						・展示会への支援拡充				
						・(仮)中小企業活性化専門部会				
7	*	佐	野	仁	昭	① 消防団活動の環境整備について	市	長		境
						② 羽田連絡道路事業について	健		ま	ち
						③ 防災対策について	建	設	消	防
						・カマドベンチの増設	Ш	崎	関係	作同
						・家具の転倒防止対策				
						④ 京町3丁目市営住宅集会所の維持管理と京町もも				
		Д-,		70		たろう公園へのトイレの設置について	1. 54	<del>-</del> - <del>1</del> √.	пт	ナト
8	*	宗	Ш	裕	之	① 消費税の市財政への影響について	水管		財	政
						② 久末地域の特養ホームの整備について	健思想	福	ま	ち
						③ 子母ロ小仮設校舎の跡地利用について	関係	()PJ		
		m//.		NI2	`	④ 市営住宅の蛍光灯のLED化について	+1	- E	₹r\t	207
9	*	勝	X	光	江	① 農地の保全について	教育			労
						② 街路樹の適正管理について	環		建	
						③遺跡の保存について	消   関係	防	教沙	文文
						④ 航空機の騒音対策について		₹/ÞJ		
		1.1	J^		SH:	⑤ 女性消防職員の職場環境について		<u> </u>		
10	*	片	柳		進	① 放置自転車の寄贈とベトナム・ダナン市との友好に	市	長	市	
						ついて	ま	ち 味	建即板	
						② ヘイトスピーチ解消法への対応について	Ш	崎	関係	向
						③ 多摩川の洪水対策、浸水想定について				
						④ 川崎駅東海道線ホームの拡幅について				
						⑤ 川崎区市民活動コーナーについて				

順序	٤	発	言	幸	<u>z</u>	要旨	答	弁	产 者
11	*	大	庭	裕	子	① 下小田中小学校の校舎増築計画について	水管	者	教育長
						② JRの混雑解消策と女性専用車両について	ま	ち	健 福
						③ 多摩川河川敷利用に伴う安全整備について	建	設	教次長
						④ 江川せせらぎ遊歩道について	関係	局	
						⑤ 第二種社会福祉事業の施設について			
12	*	斉	藤	隆	司	① 市営バス運行ダイヤについて	経	労	まち
						② 登戸土地区画整理事業について	交通	局	
						③ 商店街支援について			
13	*	石	田	和	子	① 乳幼児健診及び母子保健事業について	こど	Ł	健 福
						② 大山街道片町踏切の安全対策について	ま	ち	建設
						③ かすみ堤防の保全について	高	津	関係局
						④ 下作延交差点の交通安全対策について			
14	*	渡	辺		学	① わくわくプラザの学校長期休業期間中の開所時間	こど	Ł	まち
						について	建	設	交 通
						② 川崎駅西口地域の自転車通行環境整備について			
						③ 幸区役所への利便性を高めるバス運行について			
						④ 市営住宅のエレベータ設置促進について			
15	*	市	古	眏	美	① 中学校の運動部活動について	教育	長	総企
						・子どもの成長と教師の多忙化	健	福	教次長
						② 災害時のトイレに及び避難場所における女性配慮	関係	局	
						について			
						③ リハビリテーション福祉センターの付属スポーツ			
ļ						施設について			
16	*	井	П	真	美	① 公共施設における太陽光パネルの設置について		境	まち
						② 宅地耐震化推進事業について	建	設	関係局
						③ 緑地保全について			
						④ 街区公園の整備について		<u> </u>	
17	*	Щ	田	晴	彦	① 多摩川バーベキュー広場等の駐車場について		長	環境
						・事業効果		福	まち
						・今後の展開	建	設	関係局
						② 市営住宅の高齢者対策について ・生活援助員派遣事業			
						・生石仮切貝が追事業   ・公費設置風呂釜等の進捗			
						③ 旧耐震基準マンション等 (非木造住宅) 対策につい			
						● 日間放塞中、マンコン寺(外外追任七) 別衆に ジャー			
18	*	吉	岡	俊	祐	① 空き家対策について	市	長	教育長
		П	). Q	~	rH	② パラムーブメントと障害者差別解消法について			市民
						③ キャリア教育について			まち
							関係	局	
19	*	岩	崎	善	幸	① 建築物省エネ法の対応について	市	長	教育長
						・目的と広報の取組			環境
						・省エネ設備補助制度の拡充ほか			まち
						• C L T の活用	ł	設	教次長
						② 道路交差点の安全対策について	関係	局	
						・港町駅入口と久根崎交差点周辺			
						③ 自転車の総合対策について			
						・新川通りの自転車走行環境等整備			
						④ 一人暮らし支援サービス事業について			

順序	発 言 者	要旨	答弁者
20	*河野ゆかり	① 女性活躍推進について	市長総企
		② 市立小学校並びに「わくわくプラザ」の緊急時対応に	こども 多 摩
		ついて	教次長 関係局
		③ 生田緑地におけるパークマネジメントの取組並びに	
		日本民家園開園50周年の取組について	
21	* 花輪 孝一	① 低未利用地の実態と活用について	副市長 教育長
		② 徘徊高齢者対策について	財政健福
		③ 尻手黒川線の全線開通の見通しについて	建設教次長
		④ 福祉教育について	関係局
22	* 沼 沢 和 明	□ 着衣泳(UITEMATE)について	市長教育長
		② 行政委員の報酬について	総企市民
		③ 本庁舎建替について(文化・芸術のまち)	消防教次長
		④ Wi-Fiの環境整備について	関係局
23	* 浜 田 昌 利	① 学校での熱中症対策について	市長副市長
		② 多摩川などでの違法係留について	教育長 市 民
		③ ひきこもり支援について	こども 経 労 健 福 建 設
		④ 商店街への防犯カメラ設置支援について	港湾教次長
		⑤ 幼稚園の一時預かり事業について	関係局
24	*田村伸一郎	① 発達障害児支援策について	市長環境
	, H 11 M N	②食品ロス削減への取組について	健 福 教次長
		( ) XIII . 1717/	関係局
25	*かわの忠正	① 川崎駅周辺の整備について	市長市民
		② 市営住宅について	まち建設
			関係局
26	* 後藤晶一	① 防災対策について	市 長 教育長
		- 災害弱者(要援護者)施策 	総企健福
		② 教育環境整備について	教次長 関係局
		・末長小過密対策	
27	* 川島雅裕		市長総企
		・東京パラリンピックまでの取組	市 民 健 福 関係局
		② 紙おむつ支給制度について   ・支給要件の見直し	
		③ とどろきアリーナのトイレの洋式化について	
		④ 定とろさケッ	
		・防災訓練での啓蒙、使用手順の広報強化、災害時	
		の開放	
28	* 春 孝 明	① 身体障害者補助犬について	教育長 健 福
	, , , , ,	② 川崎市高等学校奨学金制度について	教次長 関係局
		③ 残薬と薬剤耐性菌対策について	

順序	発 言 者	要旨	答	产者
29	* 渡 辺 あ つ 子	<ul> <li>① 18歳選挙権と投票所のバリアフリーの状況について</li> <li>② LED街路灯設置に関する諸課題について</li> <li>・バス通りや比較的交通量の多い道路などの街路灯のLED化が進んでいることから発生する課題</li> <li>・バス停付近における街路灯の設置</li> <li>③ 地域包括ケアシステム及び生活援助について</li> <li>・地域包括ケアシステムの法的根拠</li> <li>・生活援助の在り方</li> <li>④ かわさき健幸福寿プロジェクトについて</li> <li>・日常生活の改善を見たときのインセンティブの在り方</li> </ul>	健 福 一	建 選 管
30	* 織 田 勝 久	<ul><li>① 鷺沼駅周辺まちづくり推進事業について</li><li>② 都市計画道路の整備について</li><li>③ 新百合ヶ丘駅周辺地区まちづくり推進事業について</li><li>④ 重度障害者医療費助成制度について</li></ul>	市 ま 宮 関係局	健 福 建 設 麻 生
31	* 木庭理香子	<ul><li>① AEDの設置について</li><li>② 生産緑地について</li><li>③ ブランドメッセージについて</li><li>④ 中学校教員の負担軽減について</li></ul>	教育長経 労建 設	総 ま ち 関係局
32	* 露 木 明 美	<ul><li>① 子ども・若者の居場所づくりについて</li><li>② 災害対策(避難所等)について</li><li>③ 学校をめぐる諸問題について</li><li>④ ずっと住み続けたいまちを目指す取組について</li><li>⑤ 高齢者支援について</li></ul>	教育長 る 摩	総 健 福 関係局
33	* 松 井 孝 至	① 子供の体力向上課題対策プロジェクトについて ② 個人メールアドレスの流出について	教育長 教次長	総 企関係局
34	* 山田益男	<ul><li>① 組体操の課題について</li><li>② 神明町いこいの家跡地利用について</li><li>③ 川崎駅西口バス広場について</li></ul>	教育長幸	健 福教次長
35	* 雨 笠 裕 治	① 市街地再開発整備について ② 基幹道路整備右左折帯暫定整備基準の取組と協議 について ③ 職員の超過勤務是正について	市総企建設	副市長 ま ち 関係局
36	* 岩 隈 千 尋	① 英語教育について ② 人材育成・人事評価について	市 長 総 企 関係局	教育長 教次長
37	* 押 本 吉 司	① 職員の喫煙について ② 組体操の実施について ③ 中原区内の交通安全対策について	市 教 総 中 原属	副市長 人委長 健 福 教次長

順序	<u> </u>	Ě	言	者	<u>.</u>	要旨	答	Ŧ	<u> </u>	者
38	*	堀	添		健	<ul> <li>① 都市計画道路溝ノ口線大山街道路切の安全対策について・工事着手を踏まえた踏切安全対策</li> <li>② 町内会・自治会の加入促進について・ホームページへのリンク</li> <li>③ シティプロモーション活動について・職員の名刺活用等</li> <li>④ 障害者差別解消法への対応について・対応要領と研修体制・出資法人等への対応</li> </ul>	総健建	企福設	市ま関係	民ち局
39	*	飯	塚	Æ	良	① 東扇島について ・「川崎の浜」の整備 ・東扇島トラック待機場 ・島内の交通渋滞 ② 球場の整備について ・大師少年球場 ・池上新田球場 ・桜川球場 ③ 住居表示の変更について	市港	民湾	関係	設局
40	*	林		敏	夫	① 下水道事業の取組について ② 町内会・自治会会館の耐震化事業について ③ 客引き行為等防止条例の推進について	水管関係		市	民
41	*	嶋	崎	嘉	夫	① 都市計画について ② 耐震診断を義務化した沿道建築物の耐震対策事業 について	市関係	長局	ま	ち
42	*	松	原	成	文	<ul><li>① 中原区の安全・安心について</li><li>② 町内会・自治会の防犯カメラ設置について</li><li>③ 公営住宅の現状と今後について</li><li>④ 教科書採択について</li></ul>	ま高	民ち津	健	企福原前局
43	*	末	永		直	<ol> <li>本市バス路線等について</li> <li>家庭教育の推進等について</li> <li>道徳教育の推進等について</li> <li>災害対策等について</li> </ol>	市総教次	長企	教育 交	長通
44	*	斎	藤	伸	志	<ul><li>① 自立型水素エネルギー供給システムの活用について</li><li>② 上作延停留所等の乗車対応について</li><li>③ 入札制度について</li></ul>	財交	政通	臨 関係	
45	*	原		典	之	<ol> <li>防災行政について</li> <li>消防行政について</li> <li>霊園事業について</li> </ol>	総消	防	建 関係	
46	*	野	田	雅	之	<ul><li>① 感震ブレーカー設置促進について</li><li>② 市営プールの運営管理について</li><li>③ 部活動の現状と課題について</li><li>④ まちの活性化に向けた取組について</li></ul>	教育 経 建 関係	労設	総 ま 教次	

順序	3	Ě	言	1	<u>خ</u> ا	要旨	答	Í	<del>'</del>	者
47	*	橋	本		勝	① 川崎港緑化計画について	総	企	健	福
						② 救急搬送等について	港	湾	消	防
						③ 指定都市都道府県調整会議について	関係	系局		
48	*	老	沼		純	① 本市の危機管理体制について	1	<b></b>		手長
						② 都市ブランド推進事業について		企	経	
						③ 食農教育事業について	教》	欠長	関係	系局
						④ 川崎市農業振興計画について				
49	*	Щ	崎	直	史	① 市バスについて	市	長	副同	片長
						② 農業振興地域について	経	労	交	通
								系局		
50	*	浅	野	文	直	① 幼稚園周辺における保育所整備について	市	長		学者
						② 指名競争入札の業者選定基準について	財	政		
						③ グラウンド整備における更衣室の在り方について	建	設		系局
51	*	矢	沢	孝	雄	① 特別養護老人ホームの整備について		管者	財	政
						② 市道向ヶ丘48号線歩道橋整備状況について	経	労	健	福
						③ 農地の適正利用について	ま	5	建	設
						④ バス交通整備について	] 交	通	関係	系局
						⑤ 街路樹適正管理計画について				
52	*	吉	沢	章	子	① 無戸籍者について	市	長	副同	片長
						② 子どもの貧困対策について	教育	旨長	市	民
							1	- F	教》	欠長
								系局		
53	*	廣	田	健	_	① 自主防災について	4	企	ے ک	ども
						② 児童虐待について	関係	系局		

## 議会運営の手引き(抜粋)

### 第11章 選 举

第1節 (省略)

#### 第2節 その他の選挙

- 228 市並びに各区選挙管理委員及び同補充員の選挙については、議会運営委員会で協議する。なお、候補者が決まったときの選挙の方法は、指名推選とする。
- 229 指名推選により選挙する選挙管理委員補充員の補充の順序は、委員候補のいない推薦会派を優先順位(多数会派順)とし、次に委員候補のいる推薦会派(多数会派順)を指定する。なお、1会派で2名の補充員候補があった場合には、2人目は全会派一巡後に指定する。
- 230 市並びに各区選挙管理委員及び同補充員の当選者には、文書で通知するとともに、承諾書の提出を求める。

### 各区選挙管理委員及び同補充員について

各区選挙管理委員会及び同補充員の定数は、各区それぞれ4人ですので、7区合計で28人ずつとなります。これに「議会の構成議員数割合」を乗じて数値を算出し、さらに各会派へ配分する「委員数」は、次のとおりとなります。

会	派	人数	計算式	委員数	備考
自 民	: 党	1 9	$28 \times 19 / 60 = 8.866$	9	
公明	党	13	$28 \times 13 / 60 = 6.066$	7	
民主み	らい	1 1	28×11/60=5.133	6	
共 産	党	1 1	28×11/60=5.133	6	
無所	属	1	$28 \times 1 / 60 = 0.466$	_	
無所	属	1	$28 \times 1 / 60 = 0.466$	_	
無所	属	1	$28 \times 1 / 60 = 0.466$	_	
無所	属	1	$28 \times 1 / 60 = 0.466$	_	
無所	属	1	$28 \times 1 / 60 = 0.466$	_	
無所	属	1	$28 \times 1 / 60 = 0.466$	_	
計		6 0		2 8	

 選挙管理委員総数
 x
 会派人数

 (同補充員総数)
 議員総数

# 市及び各区選挙管理委員・同補充員割り振り表

平成24年8月28日

市区名		奇 市	JII ф	奇 区	幸区		中师	京 区	高海	車 区	宮前	前 区	多》	摩区 /		生 区	区計
正補別会派名	委 員	補充員	委員	補充員	委 員	補充員	委員	補充員	委員	補充員	委 員	補充員	委員	補充員	委員	補充員	(各28人)
自民党	0	2	0	3		1	0	1	0	2	0	2	0	2	0	2	8
			0					4									O
公明党	0	3	0	4		2	0	3	0	4	0	3			0		6
民主党	0	4		1		3	0	2	0	3	0	4	0		0	3	6
共 産 党	0			2	0	4	0			1	0		0	3	0	4	5
みんなの党		1	0						0			1	0	4		1	3

^{※ 「◎」}は委員。「○」は補充員、中の数字は補充員の順位を示す。

# 市及び各区選挙管理委員・同補充員割り振り表

平成28年 月 日

					_										-, 2 0	, , ,	
市区名	]	崎 市	JII	崎 区	幸	区	中元	京 区	高	車 区	宮前	前 区	多》	擎 区	麻り	生 区	区計
正補別会派名	委員	補充員	委員	補充員	委員	補充員	委員	補充員	委員	補充員	委 員	補充員	委 員	補充員	委員	補充員	(各28人)
自民党																	9
公明党																	7
民主みらい																	6
共 産 党																	6

^{※ 「◎」}は委員。「○」は補充員、中の数字は補充員の順位を示す。

## 川崎市選挙管理委員名簿

任期(平成24年10月14日~平成28年10月13日)

平成28年6月1日

1-1-779	(   /9/Q= 1	1 - 0	/ 4		1 /5/4		0/110 [7]						-			
職		名	氏	i		名	郵便番号	住	所	電話番号	所	属政	党	推薦	<b></b>	派
委	員	長	立小	たけ	こう 光	おき				•	共	産	党	共	産	党
委員長	長職務代:	理者	うえ 上	原	くに 國	お男					自	民	党	自	民	党
委		員	たま 王	井	のぶ 信	しげ 重					民	進	党	民	主	党
委		員	まん本	ま間	<u>Ľ</u>	ろう 訳					公	明	党	公	明	党

## 川崎市各区選挙管理委員名簿

												Ι.					_
区名	職		名	氏			名	郵便番号	住	所	電話番号	所,	属政	党	推	薦会	;派
	委	員	長	き	野野	候	いち	_				無	所	属	みん	しなの	の党 ——
川崎	委員長	長職 務仁	大理者	水水	卢		たけし 武	_				無	所	属	自	民	党
	委		員	_{あか} 赤	さか 坂		みのる 實					公	明	党	公	明	党
	委		員	うす 薄	ぎ衣	とし	例					自	民	党	自	民	党
	委	員	長	古古	es 作	oで 榮	とし	_			'	公	明	党	公	明	党
幸	委員長	長職 務仁	大理者	かわ 	ばた端		たけし 猛					共	産	党	共	産	党
区	委		員	t 佐	の野	かず 和	ゅき 行	=				自	民	党	自	民	党
	委		員	た田	むら村	は良	が雄	=				民	進	党	民	主	党
	委	員	長	が荒	もみ籾	かず	お男	-			ļ	民	進	党	民	主	党
	委員長	長職 務仁	代理者	小		か <u>みつ</u> 三	お男	=				共	産	党	共	産	党
原区	委		員	もり森	た田田	やす安	のぶ信	=				公	明	党	公	明	党
	委		員	かる	かけ掛		あきら 朗	_				自	民	党	自	民	党
	委	員	長	u 星	の野	はん憲	じ司	_			ı	無	所	属	みん	しなの	の党
	委員長	長職 務仁	大理者	堀	かわ 川	ゆき幸	 夫	_				民	進	党	民	主	党
津区	委		員	も森	, i	 くに 國	が雄	_				自	民	党	自	民	党
	委		員	お小	ざわ澤	より良	はる治	_				公	明	党	公	明	党
	委	員	長	の野	デ ぐち 口	邦	び彦	_			1	共	産	党	共	産	党
官	委員長	長職 務仁	大理者	がの井	うえ 上	<i>,</i> la	たかし高	=				無	所	属	みん	しなの	の党
前区	委		員	該	世に橋	のぶ 脩	やす	=				自	民	党	自	民	党
	委		員	ば柴	た田田	が憲	だけ武	_				公	明	党	公	明	党
	委	員	長	みや宮	もと本	びる浩	み巨	-			1	無			 	しなり	
多摩	委員長	長職 務仁	大理者	ば馬	一ば場	が志		_				自	民	党	自	民	—— 党
摩区	委		——	おの小里		かっ勝	ぎ正	_				民	進			主	
	委		——	いの 井	うえ 上	かっ克	#   	_				共	産				
	委	員	長	がまり出	もと本	光が	き夫	-				公	明	党		明	党
麻		長職務付		 	をう藤	まさ	大い利	_				共	産		共		党
生	委		—— 員	上 たか 高	歴は橋	以	あきら	_					進		民		党
	委 委		 員	かた渡	はなり	たっ辰	<u>早</u> お 夫	_					民	党			
	女		只	渡	邊	辰	天						νŢ	九		LT.	九

# 川崎市各区選挙管理委員補充員名簿

平成28年6月1日現在

一	所属	氏			名		住	所	推薦	<b>夢</b> 会	派	補 充 順位	所	属政	党	
Th   Th   Th   Th   Th   Th   Th   Th		_{あお} 青	き木	oで 秀	記				みん	なの	党	1	無	所	属	
で			原	まさ勝	利			-	自	民	党	2	自	民	党	
R		_{なが} 長	お尾		たけし 武			-	公	明	党	3	公	明	党	
大子   1   無   所   属   元   元   元   元   元   元   元   元   元		しょう 庄	じま嶋	弘				-	民	主	党	4	無	所	属	
一		すず 鈴	き木	が安	sé 房			Ī	民	主	党	1	無	所	属	
1		しら 白	が井	じゅん 淳	予			-	共	産	党	2	共	産	党	
全		*** 大	たけ竹	のぶ 伸	us 拡			-	自	民	党	3	無	所	属	
本文		藤		けん 謙	ご吾				公	明	党	4	公	明	党	
E   E   E   E   E   E   E   E   E   E		やま  ∐	下						自	民	党	1	無	所	属	
佐々木 男 美   1		ts 治	ぎ部	せい 誠-	ちろう 一良[				公	明	党	2	公	明	党	
自民党 1 無所属     京	区	き さ 佐々	·木	いさ 勇	美				民	主	党	3	無	所	属	
中原区   一方		西西	tis 村	出由	男				共	産	党	4	共	産	党	
R		さい 齋	をう藤	とし利	<u>"</u>				自	民	党	1	無	所	属	
図   N   N   N   N   N   N   N   N   N		おか若	つき 月	かず	裁				民	主	党	2	無	所	属	
大田   1		くに 國	まつ 松		いさお 勲				公	明	党	3	公	明	党	
高書     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     ***     *** </td <td></td> <td>tis 原</td> <td></td> <td>朝</td> <td>tia 春</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>自</td> <td>民</td> <td>党</td> <td>4</td> <td>無</td> <td>所</td> <td>属</td> <td></td>		tis 原		朝	tia 春				自	民	党	4	無	所	属	
R   R   R   R   R   R   R   R   R   R		髙	は橋	_{みず} 瑞	穗				共	産	党	1	共	産	党	
区     第三     2     3     無所属       公     明党     4     公明党       公     明党     4     公明党       みんなの党     1     無所属       公     明党     3     公明党       日     民     2     自民党       公     明党     3     公明党       民     主党     4     無所属       公     明党     3     公明党       民     主党     4     無所属       公     明党     1     公明党       日     民党     2     自民党       本     上     大     大       本     上     上     上       本     上     上     上       本     上     上     上       本     上     上     上       よ     上     上     上       よ     上     上     上       よ     上     上     上     上       よ     上     上     上     上       よ     上     上     上     上       よ     上     上     上     上       よ     上     上     上     上       よ     上     上     上     上       よ     上		すず 鈴	木	けん 健					自	民	党	2	自	民	党	
大学 注		みつ 三 二	ざ部	まさ 正					民	主	党	3	無	所	属	
宮前区     読機       協議     とである。       とである。     とである。       とである。     とである。       とである。     とでは、などでは、などでは、などでは、などでは、などでは、などでは、などでは、など		やま   <u> </u>	もと 本	_{ゆき} 幸					公	明	党	4	公	明	党	
S					たかし高				みん	なの	党	1	無	所	属	*
区     (株)     (**)     (**)     (**)     (**)     (**)     (**)     (**)     (**)     (**)     (**)     (**)     (**)     (**)     (**)     (**)     (**)     (**)     (**)     (**)     (**)     (**)     (**)     (**)     (**)     (**)     (**)     (**)     (**)     (**)     (**)     (**)		ta 猿	橋	のぶ 脩	やす				自	民	党	2	自	民	党	*
多摩     立 いずみ き喜 いち いち いち いち いち いち さら		栃	煮木	参	雄				公	明	党	3	公	明	党	
多摩区     立		*** 安	おか 岡	しげ重	高			_	民	主	党	4	無	所	属	
(本)     (本)<			П		ろう 郎			_	公	明	党	1	公	明	党	
区     第       支     支       支     支       支     支       大     大       大     大       大     大       大     大       大     大       大     大       大     大       大     大       大     大       大     大       大     大       大     大       大     大       大     大       大     大       大     大       大     大       大     大       大     大       大     大       大     大       大     大       大     大       大     大       大     大       大     大       大     大       大     大       大     大       大     大       大     大       大     大       大     大       大     大       大     大       大     大       大     大       大     大       大     大       大     大       大     大       大<	多座			喜喜	_			_	自	民	党	2	自	民	党	
麻     は     な     な     な     の     な     の     の     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点     点<	区							_	共	産	党	3	共	産	党	
麻     横     山     be b				美				_	みん	なの	党	4	無	所	属	
(五)     (五)     (表)     (表) </td <td></td> <td></td> <td>かわ    </td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>_</td> <td>みん</td> <td>なの</td> <td>党</td> <td>1</td> <td>無</td> <td>所</td> <td>属</td> <td></td>			かわ 					_	みん	なの	党	1	無	所	属	
区   g s s s s s s s s s s s s s s s s s s			Щ						自	民	党	2	自	民	党	
世		te 関	野野	紀	好				民	主	党	3	無	所	属	
			井	謙	きち古	.,, <u></u>	· <b>-</b>	 	共	産	党	4	共	産	党	

^{1 ※}印の2名 (宮前区) は、選挙管理委員に就任 2 推薦会派・所属政党については、平成24年10月の委員改選時のもの